



Be an ACE! 大志・貢献・活力

県立直江津中等教育学校
H28 学校だより No. 34

平成28年 12月22日(木)
発行

国際理解プレゼンテーションコンテストで見事に入賞～3、4年生あすなろ探究～

新潟県国際交流協会が主催する「国際理解教育プレゼンテーションコンテスト」が12月17日(土)に新潟市の朱鷺メッセ国際会議室で開催されました。本校からは、「あすなろ探究」で国際分野を選択した3、4年生32名の生徒が参加し、学習の成果を発表しました。

中学校の部で3年生が4チーム、高校の部で4年生が1チーム参加し、それぞれのチームが総合的な学習の時間で学習した内容を堂々と発表しました。そして、全県から出場した各校の中から、中学校の部で2チームが入賞を果たしました。学習の成果が実り、本当にうれしいことです。以下に受賞内容を紹介します。



平成28年度国際理解教育プレゼンテーションコンテストの結果

優秀賞 タイトル「Save the world～フェアトレードで作る明るい未来～」
 チーム名「フェアトレード広める勢!!」

審査員特別賞 タイトル「世界まるごと歯の健康」
 チーム名「Smile Protectors」

吹奏楽部がフレンドリーシップコンサートに出演

12月25日(日)午後2時からリージョンプラザ上越で行われる「2016フレンドシップコンサートIN上越」に本校吹奏楽部が出演します。このコンサートは、吹奏楽コンテストのないこの時期に、上越地区高等学校吹奏楽のレベルアップと親睦を目的に、高田北城高校が事務局となって昨年度から行われているものです。今回は高校7校、大学1校、社会人1団体が演奏します。本校吹奏楽部は2時から1番めに演奏する予定です。演奏曲は「パイレーツオブカリビアン(サウンドトラックハイライツ)」と「三日月の彼方」の2曲です。また、本校吹奏楽部はラストの4時15分頃に演奏される合同演奏にも出演します。合同演奏の曲目は「アニメメドレーハウルの動く城」です。

吹奏楽部の練習の成果が分かる楽しいコンサートです。みなさん、ぜひご来場ください。

恒例ソロコンテストも開催

吹奏楽部では、部員の技術を高め、表現力を磨くため、また、一人で舞台に立つ精神力を鍛えるため、毎年校内ソロコンテストを開催しています。今年度も年明け、1月22日(日)の13:00からリージョンプラザ上越2階コンサートホールで開催します。1～5年生の全部員の晴れ舞台をご鑑賞ください。保護者の皆さんはもちろん、本校生徒やお友達のご来場もお待ちしています。

明日は合唱コンクールです。皆様のご来場をお待ちしております。

日時 平成28年12月23日(金) 13:15～16:00 会場 上越文化会館

いのちを大切に～12月22日の校長講話～

皆さんも、ニュースや新聞の報道で、すでに知っていると思いますが、11月21日早朝、新潟市内で県立高校1年男子生徒が、電車にはねられ亡くなるという事故が発生しました。その後、学校でのいじめが自殺につながった可能性があることがわかったため、第三者委員会が調査を行っています。このような痛ましいことが、今後二度と起きてほしくないとの願いを込めて、今日は命について、そして、いじめについて話をしたいと思います。

ところで、皆さんは、日常生活の中で、命について考えることは、あまりないと思います。私自身も、日々の忙しい生活の中で、簡単に答えにたどり着けない難しいことをあまり考えたくないという気持ちがあるように思います。しかし、皆さんの中にも、親戚の祖父母や同居していた家族など身近な人の死に接したことがあるという人、あるいは、かわいがっていた犬や猫などの死に接したことがあるという人がいると思います。そういった場面では、命に限りがあること、一度死んだものは二度と戻ってこないことを否応なく実感させられます。そして、亡くなった人との接点が多ければ多いほど、その悲しみは深いものになります。たとえ、長い間、病院に入院していて、死が近づいていることを周囲の人たちが覚悟していたとしても、いざ亡くなってしまうと、とても悲しいものです。ましてや交通事故や突然の発作などで、全く予期せず死が訪れた場合、その悲しみや混乱はさらに大きなものになります。そして、自殺によって家族を失った人たちの衝撃と悲しみは、それを経験したことのない人には、想像できないほど大きく、後に遺った人たちをいつまでも苦しめることもあると聞いています。

あらゆる命には限りがあり、生きているものは必ず死を迎えます。そして、命を失ってしまうと二度と取り戻すことができません。これから先にとっても楽しいことがあるとしても、すてきな仲間とめぐり逢う機会があるとしても、大発見をするチャンスがあるとしても、命を失ってしまうと、その先の可能性も夢もすべて失ってしまいます。だからこそ、命は掛け替えのないもの、失いたくないものなのではないでしょうか。

次にもう一つ考えてほしいことは、「皆さんの命は皆さん一人のものだろうか？」ということです。私たちの命は、遠い先祖から、祖父母や両親を経て受け継がれてきたものです。そして、受け継いだ命は未来に向かってつながっていくべきものです。また、皆さんがこれまで立派に成長してこられたのは、親をはじめ多くの人たちの支えがあったからに違いありません。さらに、私たちが日々食事をして生きていられるのは、自然の恵みや生き物の命をいただいているからです。私たちは、たった一人で生きていくわけではなく、これまで命を受け継いできた先祖や支えてくれる周囲の人たち、他の動植物などのお蔭で生きているのだということを忘れることなく、そうした支えやいただいた命を何かに役立てることができるような生き方をしてほしいと願っています。

次に、いじめについて話します。いじめに関するいくつかの調査結果をみたところ、中学生や高校生の場合、いじめを受けたときに誰にも相談しなかった人が40～60%もいるというデータがありました。相談しない理由として、「親に心配をかけたくない」とか、「被害がひどくなるから」、「相談しても解決しないから」などの理由が多かったようです。自分一人で解決できるのであれば、それでもいいと思いますが、解決しなかった場合には、親や先生方など大人に必ず相談してください。大勢で一人を攻撃したり、卑怯な手口であったりすれば、本人だけで解決することが難しいケースも考えられます。当事者である本人は、「どうにも逃げ道が見つからない」と絶望的になる場合でも、親や先生など第三者の視線で見たり、大人の立場で考えると、当事者では気づけなかったような解決方法が見つかったりするものです。すぐに解決しなくても、いろいろな方法で訴えていくことで必ず解決の方法が見つかるということを忘れないでほしいと思います。

今後の予定

- 12月23日（金）合唱コンクール 6年生校外学習（上越教育大学）
- 12月26日（月）～27日（火）冬季休業 1～5年生冬季補習 6年生特編
- 12月28日（水）冬季休業 3年生冬季補習 6年生特編
- 12月29日（木）～1月3日（火）校舎閉鎖
- 1月 6日（金）補習、土曜講座、入検準備作業、清掃 6年生校外学習 12：00完全退校



